

# リスペクトの理念を広げよう

このページではこれまでに起こった事案を公開し、皆さんにリスペクトについて関心を持っていただき  
安心・安全なサッカー環境創出に資することを目的としています。

(一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会

## 2017年7月に通報のあった暴力、暴言事案について

事実関係について確認し、当該チーム、指導者の反省の念を確認した。

当該チーム、指導者に、暴力、暴言によらない指導の質の向上を求め、チーム内で共有し努力することを約束。4種委員会として、4種委員会全体の問題として全チームに経過、取組みの共有を促すこととした。

本事案を通じ指導スキルの向上を通じて暴力・暴言を排除していくことを再確認し、全チーム、指導者に徹底することを9月に行われた評議員会にて確認した。

報告：4種委員会 リスペクト推進担当

平成29年9月9日

## ケガをしている選手の試合出場（ノースガードの着用）について

### 4種委員会主管大会における出場選手についての4種委員会指針

- ①「骨折で治療中」の選手が大会に出場することは認めない。ノースガード及びその他の保護用具を着用しての出場は、「保護者同意書」や「医師の診断書」が提出されたとしても認められない。
- ②ケガの治癒または健常な選手が着用する保護用具として「ノースガード」の着用は認められない。
- ③基本的にケガをしている選手が大会に出場することに対する責任は所属チームにあるが、4種年代の選手であることを十分に認識したうえで慎重な判断を求める。

平成29年2月10日 4種委員会

平成28年度第40回全日本少年サッカー山梨県大会2日目11月13日（日）に行われた試合中、鼻骨骨折により治療中の選手について、大会3日目11月20日の試合にノースガードを着用したうえで出場させたい旨、当該チーム指導者より峡中地区理事宛てに問い合わせがあった。

このことについて11月18日4種理事会で協議し、鼻骨骨折して間もない選手が保護用具を付けたとしても安全とは言えず。骨折している選手を起用することを認めることは出来ないと回答した。

4種委員会ではノースガードの扱いについては一定の方向を示す必要性があることから、各地区の聞き取り調査等をおこない4種委員会としての指針を示すこととした。

「学校の敷地内で応援に来ていた父兄が煙草を吸っていたという問題が発生しました」

グループとしては対象チームに嚴重注意し、また、観戦マナーについて、再度の周知徹底をしていくよう各チームにおねがいをいたしました。

報告：平成26年10月23日 U-12リーグ G-グループリーダー

※各チームに対してリーグ開催日に全チームの指導者に問題報告をした。

『観戦マナーについて』を再確認していただくため資料配布。

「試合開始時に規定の選手数に満たなかったため不戦敗の扱いとした」

リーグ戦に欠席者があり、7名で参加となったチームに対し、レギュレーション通り不戦敗扱いとし当該チームの試合2試合についてスコアを0-5としました。

報告：平成26年10月19日 U-12リーグ S-グループリーダー

※リーグ戦開催日、3名が都合により欠席となったため参加できる選手が7名となったのでグループリーダーにあらかじめ状況を報告していた。グループ実行委員会で協議し当該試合の延期も検討したが、前日のことでもあり予定通りの開催とした。チームマネジメントに若干問題もあるが、当該チームからの申し出もあり公式戦2試合を不戦敗扱いとすることとした。なお、当日は当該チームも参加し、担当審判・フレンドリーマッチなどをおこないました。